南知多中学校 地域学校協働活動（南活）構想図

町の将来を担う子どもたちを、学校と地域で育てるという共通の目標のもと、南知多探究学習の支援を地域総出で行う。

【南知多中学校】

南知多探究学習

南知多を教材として、そのよさと町が抱える課題を学習する。

１年生
・自分の育った地域を紹介し合い、町全体のことを知る。

２年生
・大企業の協力を得ながら未来に向けて新たな価値を創造する経験を積む。
・職場体験学習

３年生
・２年生で身に付けたスキルを使い、南知多町をどうしていきたいかというイメージから具体的なアイデアを考え、実現に向けて主体的に活動する。
・南知多クリエイティブミーティングを開催し、未来の南知多町について、地域の大人と語り合う。

南知多を誇りに思い、南知多と自分の未来を創造する生徒を育てる。

生徒への助言等

関係機関・地域人材の調整

生徒が解決したい課題

南活コーディネーター

南中コミスク（学校運営協議会）
活動内容についての協議及び承認

南活ディレクター（役場関係の調整とコーディネーターとの連携）

学校(各学年)との調整

生徒の声を届ける場の設定

地域が抱える課題

【地域】

・生徒の学びに寄り添い、課題解決を支援する。
・地域課題の解決に中学生の声を生かす。

【課題の例】
・地域の避難訓練への参画
・お年寄りサロンの出し物考案
・子ども食堂のメニュー考案　など

行政（役場各部課）

【課題の例】
・少子高齢化問題
・公共施設再配置計画
・空き家問題
・海っ子バスの運行
・景観発掘プロジェクト
・町議会の模擬体験
・中学生版パブリックコメント　など

【学校としての願い】
・地域の大人が中学生の課題解決にとことん寄り添える機会を創出していきたい。
・中学生が町のことを考えて声を上げれば、実現できるかもという期待感をもたせたい。
・中学生を地域の会合や活動のメンバーとして呼んでもらいたい。これにより、地域を支えるために大切なことが何かを実感できるようになってほしい。